

Gテストを活用したキャリア支援 事例報告

公益財団法人 愛知県労働協会
事業課 職業適性相談グループ
主任 原田千絵

公益財団法人 愛知県労働協会

設立

昭和28年11月20日

事業内容

労働・産業関係情報の収集、提供等に関する事業

職業相談に関する事業

職業適性検査に関する事業

就労支援に関する事業

在宅就業支援に関する事業

労働教育に関する事業

ワーク・ライフ・バランスの促進に関する事業

あいち労働総合支援フロア 職業適性相談コーナー

個人向け

窓口相談（キャリア相談・**Gテスト等を使用した適性検査**・書類の添削等）

オンライン相談（キャリア相談・オンライン面接練習）

個別相談

－履歴書、職務経歴書等の添削

－面接練習

－適性検査（有料）を活用したキャリア相談

適職探しセミナー（適性検査を活用した自己理解セミナー）

学校向け

- ・適性検査を活用したキャリア教育、進路指導など
- ・職業講話

企業向け

- ・適性検査を活用した採用、職場配置など

窓口相談者の状況 (簡易検査受検者、窓口相談者、電話・メール相談者)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (R6.1月末現在)
窓口相談者数	1,040名	982名	882名
(うち簡易検査受検者数)	483名	427名	355名

職業適性相談コーナーの構成

職員9名 (キャリアコンサルタント有資格者 6名)

うちキャリアコンサルタント技能士1級1名在籍

キャリアコンサルタント技能士2級1名在籍

相談ブース：2つ

簡易検査用端末：2台

簡易検査の種類：Gテスト、キャリア・インサイト、興味・性格検査

Gテスト検証者状況

受検者数 : 7名 (7名中6名がアドバンス)

受検の経緯: 「適性検査を受けたい」と来所した人に対してご案内

※「相談したい」「〇〇を受けたい」と、目的をもって来所した人には案内せず

※Gテスト以外の興味・性格検査も同時受検する人の割合は100%

受検時の環境 (受検者全員同じ条件)

Gテストに使った端末: 窓口の業務用端末使用

Gテストを受けた場所: 相談窓口



Gテスト受検者（事例Ⅰ）

来所者：女性 30代後半

来所理由：現在休職中。今後の方向性に悩み、適性検査を受けに来た。Gテストを案内したところ、職業興味・性格検査と合わせて受検することになった。

【Gテストの結果】

①解答結果

	検査A	検査B	検査C	検査D	検査E
解答数	8	33	5	30	19
正答数	8	32	5	24	18

②結果に近い職業グループ

1. BC（運営・調整）
2. LC（言語・相談）
3. SV（対人サービス）
4. MN（加工・政策）
5. WK（作業・運転）
6. MS（マルチスキル）
7. TC（技能・テクニク）
8. EG（エンジニアリング）

③話し合ったこと

家族に医療従事者がいるため、看護師の仕事が気になっている。それ以外に転職も視野に入れているとのことだったため、Gテストの結果から導き出された職業グループの順に、興味のある職業についてjobtagで調べてみるようお伝えした。

Gテスト受検者（事例2）

来所者：女性 20代前半

来所理由：大学の教育学部在籍。養護教諭を目指していたが、人の命に関わる仕事だと思うと不安になり民間企業も視野に入れることにしたが、何に向いているか分からず検査を受けに来た。

【Gテストの結果】

①解答結果

	検査A	検査B	検査C	検査D	検査E
解答数	14	35	9	37	22
正答数	10	35	8	37	22

②結果に近い職業グループ

1. SV（対人サービス） 2. LC（言語・相談） 3. MS（マルチスキル）
4. TC（技能・テクニック） 5. BC（運営・調整） 6. MN（加工・製作）
7. EG（エンジニアリング） 8. WK（作業・運転）

③話し合ったこと

養護教諭として働くことしか考えていなかったため、多くの職業について知るきっかけになった。

まとめ

- ①Gテスト(アドバンス)の結果で出た職種について理解を深める
 - ⇒ミスマッチの軽減
 - ⇒応募職種の拡大
- ②無料で出来る簡易能力検査として利用者から喜ばれる可能性
- ③難易度の高い職種が多く、腰が引けてしまう人もいる
反面、アルバイトのような職種もある
- ④結果を鵜呑みにする来所者には、丁寧な解説が必要

今後の取り組み：受検者に受検後のインタビュー・感想

ご清聴ありがとうございました



公益財団法人 愛知県労働協会
事業課 職業適性相談グループ